学校法人　白鷗大学

2022（令和 4）年度

事業報告書

白鷗大学
HAKUOH UNIVERSITY

目　　次

Ⅰ.学校法人の概要
1．　建学の理念と沿革 2
2．　設置する学校 3
3．　法人組織図 4
4．　役員・教職員 5

Ⅱ.事業の概要
1．　前年度事業の概要 6
2．　白鷗大学の基本計画 8
3．　白鷗大学足利高等学校の基本計画 13
4．　白鷗大学足利中学校の基本計画 14
5．　白鷗大学はくおう幼稚園の基本計画 15

Ⅲ.財務の概要
1．　学校法人会計について 16
2．　2022 決算の概要 16

基礎データ 34

Ⅰ.学校法人の概要

1．建学の理念と沿革

（1）　白鷗大学の建学理念を具現化する言葉～PLUS ULTRA（さらに向うへ）～

プルスウルトラ
PLUS ULTRA

これは、大学創設者、上岡一嘉初代学長が、白鷗大学の記念すべき第1回卒業式(1990年)で建学の精神を卒業生に託すべく贈った言葉です。「高く広い視野に立って、たった一度の人生に情熱的にチャレンジして欲しい」というメッセージを具現化する言葉で、今では本学の建学の理念を表すスローガンとなっています。

（2）　建学の理念

本学の建学の理念は、次の4項目により表現されます。

1．永久に新しい、また永久に若き情熱の学府として、二十一世紀の社会の発展と地域の産業、経済、文化等の活性化に貢献する。
2．激変する国際社会において、現状を的確に見定めるとともに、長期的で広い視野に立って将来を展望し、考え、行動できる人材を養成する。
3．本格的な高度情報化、国際化社会を迎え、二十一世紀の日本を担う中核として活躍できる人材を育成する。
4．進んで異文化を積極的に研究すると同時に、最新の情報を的確に入手し、それらを活用できる体制を作り上げる。

（3）　沿革

1915	大正 4	上岡長四郎、足利裁縫女学校設立
1927	昭和 2	財団法人足利高等家政女学校となる
1935	昭和 10	栃木県足利高等家政女学校と改称
1947	昭和 22	学制改革により改編、足利家政中学校と改称
1948	昭和 23	足利家政専門学校創設
1951	昭和 26	学校法人足利学園を設立
1952	昭和 27	足利家政高等学校（女子普通、商業、家政）を設置
1954	昭和 29	足利家政中学校・高等学校・専門学校を足利学園中学校･足利学園高等学校･足利学園女子専門学校と改称
1956	昭和 31	足利学園附属くるみ幼稚園開園
1961	昭和 36	中学校を解消、新体制で足利学園中学校開校
1962	昭和 37	足利学園高等学校に工業化学科を設置
1965	昭和 40	足利学園高等学校に自動車科を設置
1967	昭和 42	埼玉県越谷市に越谷くるみ幼稚園開園
1969	昭和 44	足利学園女子専門学校、同幼稚園を学校法人上岡学園に移管、学校法人足利学園は高等学校(全日制)と中学校の2校に変更
1971	昭和 46	足利学園高等学校に建築科を設置
1974	昭和 49	栃木県小山市に白鷗女子短期大学（英語科･幼児教育科）を設置
1976	昭和 51	白鷗女子短期大学幼児教育科第二部を設置 白鷗女子短期大学附属幼稚園を設置
1980	昭和 55	白鷗女子短期大学に経営科を設置
1981	昭和 56	足利学園高等学校に音楽科を設置
1982	昭和 57	白鷗女子短期大学に経営科･幼児教育科の専攻科を設置
1984	昭和 59	足利学園高等学校に英語科を設置、富田キャンパス竣工
1986	昭和 61	栃木県小山市に白鷗大学（経営学部）を設置
1989	平成元	足利学園高等学校に設備工業科を設置
1990	平成 2	法人名を足利学園から白鷗大学に名称変更
1991	平成 3	足利学園高等学校の工業化学科を廃科
1992	平成 4	白鷗大学に法学部を設置
1994	平成 6	足利学園高等学校･中学校を白鷗大学足利高等学校・中学校に名称変更 法人事務所所在地を足利市から小山市に移転
1996	平成 8	白鷗女子短期大学、同附属幼稚園を白鷗大学女子短期大学部、同附属幼稚園に名称変更
1997	平成 9	白鷗大学女子短期大学部専攻科（経営）、白鷗大学足利高等学校商業科･家政科を廃科
1999	平成 11	白鷗大学大学院経営学研究科修士課程、法学研究科修士課程を設置
2001	平成 13	白鷗大学に経営学部ビジネスコミュニケーション学科を設置
2002	平成 14	白鷗大学女子短期大学部の英語科を廃科
2004	平成 16	白鷗大学女子短期大学部専攻科（幼児教育専攻）を廃科 白鷗大学女子短期大学部附属幼稚園を白鷗大学はくおう幼稚園に名称変更 白鷗大学東キャンパス竣工 白鷗大学大学院法務研究科（法科大学院）を設置 白鷗大学法学部の一部を東キャンパスに移転 白鷗大学に発達科学部発達科学科を設置
2005	平成 17	白鷗大学女子短期大学部の経営科･幼児教育科を廃科
2006	平成 18	白鷗大学足利高等学校の設備工業科･建築科を廃科 白鷗大学女子短期大学部の幼児教育科第二部を廃科 白鷗大学女子短期大学部を廃止
2007	平成 19	白鷗大学発達科学部を教育学部に名称変更 白鷗大学教育学部に英語教育専攻、心理学専攻を設置 白鷗大学経営学部経営学科に経営専攻、ビジネスコミュニケーション専攻を設置
2011	平成 23	白鷗大学足利中学校中高一貫教育コース設置
2012	平成 24	白鷗大学経営学部のビジネスコミュニケーション学科を廃科 白鷗大学足利高等学校の音楽科を廃科
2014	平成 26	白鷗大学足利高等学校の自動車科･英語科廃科
2017	平成 29	白鷗大学大学院法務研究科（法科大学院）廃止 白鷗大学足利中学校中高一貫教育コース廃止
2018	平成 30	法人事務所及び大学本部所在地を小山市大行寺から小山市駅東通りに移転すると共に、従来の東キャンパスを本キャンパス、本校舎を大行寺キャンパスに名称変更 経営学部を本キャンパスに移転

2．設置する学校　(2023 年 4 月 1 日現在)

（1）　法人本部所在地

学校法人白鷗大学：理事長　上岡 條二
栃木県小山市駅東通り二丁目 3 番地 5

（2）　各学校の長と所在地(住所)

白鷗大学：学長　北山　修
（本キャンパス）　〒323-8586　栃木県小山市駅東通り 2-2-2
（大行寺キャンパス）〒323-8585　栃木県小山市大行寺 1117

白鷗大学足利高等学校：校長　大橋 芳樹
（本校舎）〒326-0054　栃木県足利市伊勢南町 3-2
（富田キャンパス）〒329-4214　栃木県足利市多田木町 1067

白鷗大学足利中学校：校長　髙久 哲史
〒326-0054　栃木県足利市伊勢南町 4-3

白鷗大学はくおう幼稚園：園長　島村　志津夫
〒323-0041　栃木県小山市大行寺 1195

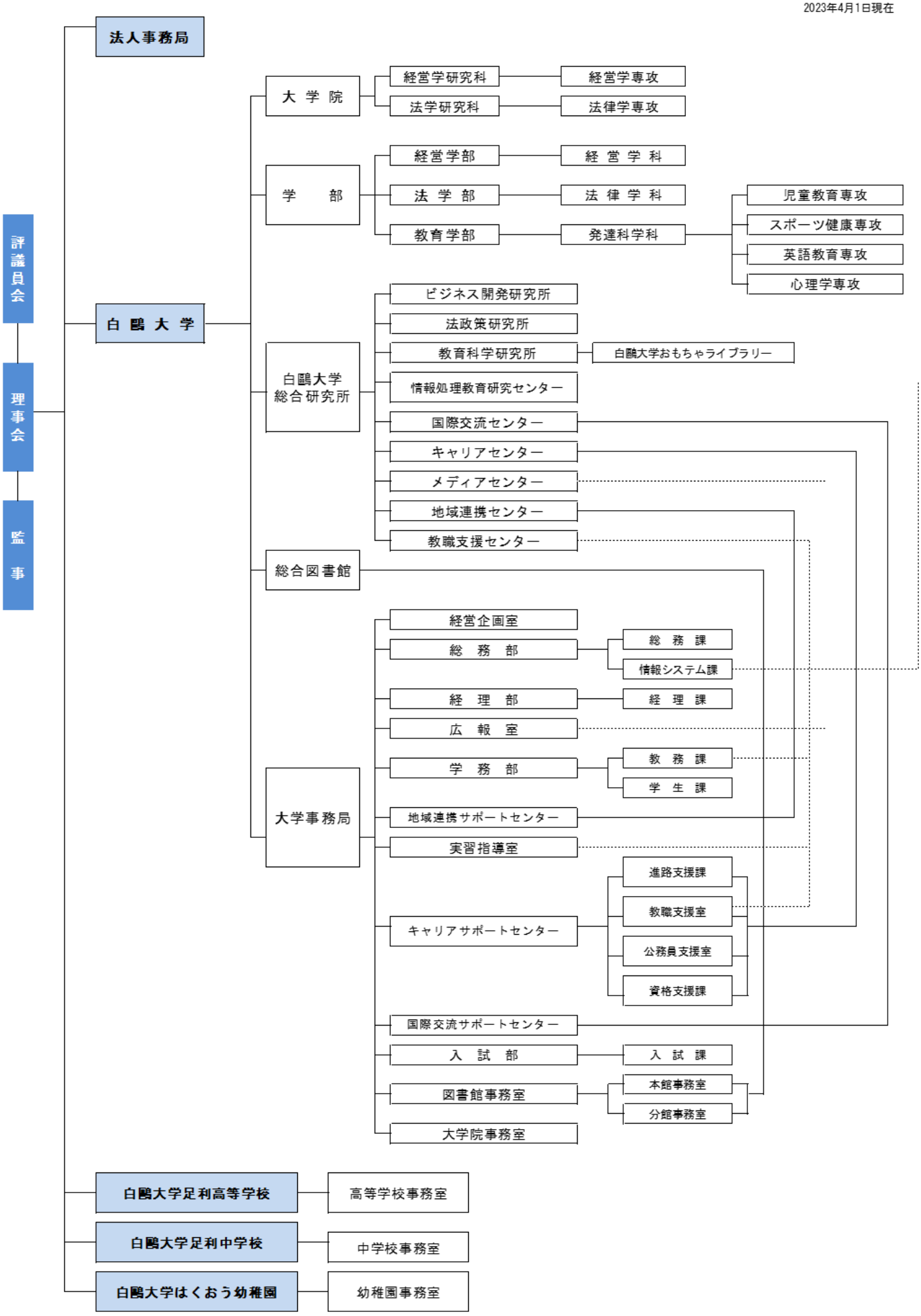
（3）　入学定員、現員（2023 年 5 月 1 日現在）

学校名				入学者数	1学年	2学年	3学年	4学年	合計
白鷗大学	大学院	経営学研究科		3	3	1			4
					(20)	(20)			(40)
		法学研究科		5	6	7			13
					(10)	(10)			(20)
		大学院合計		8	9	8			17
					(30)	(30)			(60)
	学部	経営学部	経営学科	551	551	468	453	509	1, 981
					(400)	(400)	(400)	(400)	(1, 600)
		法学部	法律学科	324	324	301	301	306	1, 232
					(270)	(270)	(270)	(270)	(1, 080)
		教育学部	発達科学科	503	503	505	487	497	1, 992
					(430)	(430)	(430)	(430)	(1, 720)
		学部合計		1, 378	1, 378	1, 274	1, 241	1, 312	5, 205
					(1, 100)	(1, 100)	(1, 100)	(1, 100)	(4, 400)
白鷗大学足利高等学校			普通科	468	468	421	411		1, 300
					(950)	(950)	(950)		(2, 850)
白鷗大学足利中学校				58	58	43	46		147
					(120)	(120)	(120)		(360)
白鷗大学はくおう幼稚園				24（年少クラスの入園者のみ）	24	23	33		80
					(40)	(50)	(50)		(140)
総合計				1, 936	1, 937	1, 769	1, 731	1, 312	6, 749
					(2, 240)	(2, 250)	(2, 220)	(1, 100)	(7, 810)

学部学科等の上段は、５月１日現在の学生・生徒・園児数、下段(　　)は各学年の入学定員

3．法人組織図（2023 年 4 月 1 日現在）

2023年4月1日現在



4．役員・教職員（2023 年 4 月 1 日現在）

（1）　理事

定数	実数	選任区分・実数	
6～8 名	7 名	１号理事	2 名
		２号理事	3 名
		３号理事	2 名

理事長　上岡條二　　理事　　北山　修　大橋芳樹　　江頭信弘　田才　晃（外部理事）
小林　喬（外部理事）　上岡寛子

以上(順不同)

（2）　監事

定数	実数	選任区分・実数	
2～3 名	2 名	常勤	2 名
		非常勤	0 名

監事　　深見栄一　　鈴木　正　　以上(順不同)

（3）　評議員

定数	実数	選任区分・実数	
15～18 名	17 名	１号評議員	6 名
		２号評議員	3 名
		３号評議員	8 名

評議員　　上岡條二　　上岡磨奈　島村志津夫　大橋芳樹　髙久哲史　渡邊博記　手束和正
笠原健一　　大澤洋子　江頭信弘　岡部宣男　赤堀侃司　加藤澤男　田才　晃
藤井　健　ジェフリー ミラー　ジョン モートン　　以上(順不同)

（4）　教職員（2023 年 5 月 1 日現在）

学校名	教員数			職員数			総合計		
	専任	専任以外	合計	専任	専任以外	合計	専任	専任以外	合計
白鷗大学	名 125	名 124	名 249	名 98	名 22	名 120	名 223	名 146	名 369
白鷗大学足利高等学校	87	53	140	23	9	32	110	62	172
白鷗大学足利中学校	16	6	22	1	0	1	17	6	23
白鷗大学はくおう幼稚園	8	5	13	0	1	1	8	6	14
総合計	236	188	424	122	32	154	358	220	578

※学長及び副学長は大学専任教員にてカウントしている。
※法人部門所属職員は、大学部門にてカウントしている。
（ただし同法人内への出向者は、出向先の部門にてカウントしている。）
※同法人内における兼務教職員は、それぞれの本務部門にてカウントしている。

Ⅱ.事業の概要

1．前年度事業の概要

（1）各学校の学事年表

実施事業（当初予定から変更実施になった行事を含む）

2022 年

4 月	入学式（大学、高等学校、中学校）・入園式
	創立記念日（高等学校、中学校）
	新入生オリエンテーションⅡ（中学校）
	朝食無料サービス（大学）
	修学旅行（中学校）
	※前年度海外研修旅行中止の代替
	イースターパーティー（幼稚園）
5 月	開学記念日
	スポーツ大会（大学）
6 月	3 年生保護者懇談会（大学）
	オープンキャンパスⅠ（中学校）
7 月	白鷗 WEB フォーラム 2022①（大学）
	七夕祭り（幼稚園）
	夏祭り（幼稚園）
	お楽しみ保育（幼稚園）
	オープンキャンパス（大学）
	体育デー（中学校）
	富 can 祭（高等学校 富田校舎）
	芸術教室（中学校）
8 月	学習合宿（高等学校）
	学校説明会・見学会（高等学校）
	卒園遠足（幼稚園）※2021 年度卒園児
	入園説明会（幼稚園）
9 月	9 月卒業式（大学）
	白鷗 WEB フォーラム 2022②（大学）
	入園願書配布受付（幼稚園）
	十五夜（幼稚園）
10 月	1 年生保護者懇談会（大学）
	体育祭（高等学校 本校舎）
10 月	オープンキャンパス
	（高等学校 富田キャンパス）
	体育祭（中学校）
	オープンキャンパスⅡ（中学校）
	運動会（幼稚園）
	卒園遠足（幼稚園）※2022 年度卒園児
	小遠足（幼稚園）
11 月	白鷗祭（大学）
	修学旅行
	（高等学校　本校舎 2 年・3 年）
	合唱祭（高等学校）
	合唱祭（中学校）
	やきいもパーティー（幼稚園）
12 月	クリスマスパーティー（幼稚園）
	スキー教室（中学校）
	白鷗 WEB フォーラム 2022③（大学）
	社会科見学（高等学校　本校舎 1 年）

2023 年

1 月	おもちつき（幼稚園）
	おゆうぎ会（幼稚園）
	Hustle＆Creative 白鷗デジフェス
	（高等学校） ※白鷗祭の代替
	予餞会（高等学校）
2 月	節分（豆まき）・1 日入園（幼稚園）
	立志式（中学校）
	予餞会（中学校）
	新入生オリエンテーションⅠ（中学校）
3 月	修学旅行（中学校）
	ひなまつり（幼稚園）
	卒業式・卒園式

コロナ禍により当初予定から中止若しくは変更により実施できなかった事業

2022 年

5 月	保育参観（幼稚園）
6 月	職場体験（中学校）
7 月	林間学校（中学校）
	お泊り保育（幼稚園）

2023 年

1 月	雪あそび（幼稚園）
2 月	保育参加（幼稚園）
3 月	海外研修旅行（中学校）
	※同時期に国内修学旅行へ変更

（2）各学校の主たる事業概要

①法人

・新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大による影響

2022 年度は、新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大の影響を受けながらも、大学部門においては、カリキュラムや授業科目の特性を踏まえ、感染防止対策を徹底したうえで、全ての科目を面接（対面）授業で実施することを原則とし、高等学校、中学校及び幼稚園でも、感染防止をしながら新しい生活様式に基づいた授業スタイルを実施するなど、徐々に平常時の教育環境を取り戻してまいりました。

本法人としては、学生・生徒・園児が安全安心な環境の中で充実した学校生活を送ることができるよう、今後も創意工夫を凝らした授業の実施などの教育活動を行ってまいります。

②高等学校・中学校部門

・白鷗大学足利高等学校及び白鷗大学足利中学校の校舎建築について

2022 年 10 月 28 日に地鎮祭が行われ、11 月 1 日に着工しました。竣工予定は、2024 年 1 月 31 日です。校舎は地上 4 階建てで、通常教室の他、理科室、技術室、調理室、美術書道室、音楽室、視聴覚室、図書室、コンピュータ室などの特別教室や、体育館、多目的ホールなどが配置される予定です。

③大学部門

・教職支援センターの設置

2022 年度から、教員を目指す本学学生はもちろん教育に携わる方や関心のある方々に、総合的な教育支援を行い、教育現場をより一層活性化すべく、教員養成や教育臨床に関わる総合センターとして「教職支援センター」を設置しました。4 月 27 日には大学大行寺キャンパスで、教職支援センターの開所式が行われました。 6 月からは「学び続ける教師のための教員研修リレー講座」として、他大学の先生も招き、現代的な学校教育課題の解決に関する講座を開講しました。今後も、優れた指導力を有する教員の養成、学校現場が抱える問題についての研修や最新の教育に関する情報の発信などを、現場と連携して行ってまいります。

・日米情報通信メディアフォーラムの開催

2022 年 10 月 29 日大学本キャンパスの白鷗国際ホールで、日米情報通信メディアフォーラム 2022「ポスト 5 G が拓く未来社会！～地域との新たな連携を目指して～」を開催しました。本学の協定校であるハワイ大学のデイビット・ラズナー総長、「インターネットの父」として知られる村井純氏をはじめ、国内外の有識者が 5 G テクノロジーとそれがもたらす社会の変化等について解説しました。後半のパネルディスカッションでは、来場者との質疑応答も交えながら各発表内容がさらに掘り下げられました。

・とちぎ創生セミナーの開催

2023 年 1 月 24 日、白鷗大学法政策研究所による「とちぎ創生セミナー ―栃木県の地方創生と白鷗大学―」が行われ、多くの学生が参加しました。本学は 2022 年 3 月に栃木県と地方創生の推進に関する連携協定を締結し、研究・教育、社会貢献活動に取り組んでおります。今回のセミナーは初めての開催で、地域課題に関する調査・研究について、児玉博昭教授（法学部）、小笠原伸教授（経営学部）、新谷由里子教授（教育学部）の 3 人がその途中経過を発表しました。

２．白鷗大学の基本計画

教育活動の概要

建学の理念をゴールとしてさらに具体化した「教育目標」は、次の４項目から構成されています。

１.激動する国内外に適応し、積極的に協調し、貢献できる語学力とコミュニケーション能力を養うこと。

２.洞察力を磨き、修得した専門知識を統合し、問題解決型の行動力を養うこと。

３.教員と学生の人間的ふれあいを重視するとともに、各分野にわたる最新のコース別講義体系、相互討論などを通じ、十分な思考力と多様な個性を育成すること。

４.知・徳・体を備えた人格形成に努めるとともに、自らの判断、努力と責任に基づいて、国内外社会に積極的に貢献できる強靭な精神を養成すること。

基本理念

学生教育を中心とする大学作り

何よりも学生を大切にし、学生が主体的に学ぶ活気ある大学を目指す

豊かな人間性と専門的知識の養成

幅広い教養を基に豊かな人間性を育み、基礎学力と高い専門性を基盤として

課題発見・解決能力に優れた人材を育成する大学を目指す

地域及び国際社会との連携（地域活性化の中核的拠点となる）

地域に根ざして世界にはばたく人材を育成する大学を目指す

自己改革

計画・実行・評価・改善の改革サイクルによる自己点検評価を行い、

基本理念を実現するために大学改革を継続する

【白鷗大学３つのポリシー】

◎ディプロマ・ポリシー　（卒業認定･学位授与に関する方針について）

白鷗大学は、国際的視野を持ち、各分野の学修によって得られた専門的知識を活かして社会の発展に貢献できる人材の育成を目標とし、本学における教育を通して以下の能力を修得することをディプロマ・ポリシーとしています。

1. 二十一世紀の社会の発展と地域の産業、経済、文化等の活性化に貢献できる能力
2. 激変する国際社会の中にあって、十分な異文化理解のもとに、長期的で広い視野に立って将来を展望し、行動できる能力
3. 本格的な高度情報社会において、最新の情報を的確に入手し、それを有効に活用したうえで効果的に情報を発信できる能力
4. 自らの判断、努力と責任に基づいて、社会に積極的に貢献できる豊かな教養と柔軟な思考力

◎カリキュラム・ポリシー　（教育課程編成・実施の方針について）

白鷗大学は、ディプロマ・ポリシーに定める能力を身につけさせることができるよう、以下の方針に沿って教育課程を編成することをカリキュラム・ポリシーとしています。

1. 激動する国際情勢に適切に対応し、積極的に国際貢献ができる確かな外国語運用能力と、他者と協調し相互理解を深めるためのコミュニケーション能力を養う。
2. 各分野にわたる最新の講義体系の採用により、専門知識の習得を充実させるとともに、社会的要請に応え得る情報教育を実施する。
3. 人間的ふれあいを重視した教員と学生の相互討論等を通じ、習得した専門知識に磨きをかけ、課題を適切に発見し、解決する力を養う。
4. リベラル・アーツを重視しつつ、知・徳・体を備えた人格の形成に資する教育を行う。

◎アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

白鷗大学は、大学の建学理念を具現化する言葉　「PLUS　ULTRA（さらに向こうへ）」の精神に沿った、チャレンジスピリット、パイオニアスピリットを有する入学者を受け入れることをアドミッション・ポリシーとしています。

（入学者選抜実施の基本原則）

本学では、次の二つの原則に則り入学者選抜を実施します。

個人の尊重：入学希望者一人ひとりの個性を尊重した評価を行います。

公平性：どのような境遇や背景のもとでも本学で学修できるように、経済的支援に配慮した選抜を実施します。

（入学者選抜評価の基本方針）

本学における学修に求められる基本的な資質能力及び潜在能力を、次の 3 つの観点から評価します。

1. 【知識・技能】

基礎的・基本的な知識及び技能

2. 【思考力・判断力・表現力】

知識及び技能を活用して思考し、判断し、表現する力

3. 【主体性・多様性・協働性】

多様な人々と協働して主体的に学修に取り組む態度

（入学者選抜の特色）

本学では、各入学希望者の総合的な資質能力を個別・適正に評価するため、多様な方法で入学者選抜を実施します。

1. 総合型選抜

総合型選抜は、本学で学ぶことを強く希望し、各学部の教育理念・目的を理解し、「何を学ぶか」明確な目的意識を持った入学者を受け入れるため実施します。

2. 学校推薦選抜

学校推薦型選抜は、一定水準の基礎学力を有した者で、本学における諸科学分野の勉学に強い熱意を有し、かつ、その適性があると認められ、将来性のある者に対して広く大学の門戸を開放することを目的に実施します。

3. 学業特待選抜

入学後に経済的支援を行う入学生を選抜する独自の選抜方法で、一定基準以上の優れた学力を有し、本学入学後、各学部の学習に意欲的に取り組み、個性豊かな覇気に富む学生に対して広く大学の門戸を開放することを目的に実施しています。

4. 一般選抜

表現力の基礎となる言語運用能力を重視した「英語」「国語」の 2 科目の学力試験です。

5. 共通テスト単独選抜

大学入学共通テストの結果により評価することで、本学から離れた地域からの受験生にも配慮し、入学希望者の受験機会を幅広く確保します。

6. 特別入試

その他特別入試として、経営学部及び法学部のみ「社会人」、「帰国生徒」、「留学生」を若干名募集しています。

（1）　事業運営の概要

（ア）　教育環境の充実

2018 年度から、JR 小山駅前の新キャンパスに大学本部及び経営学部の機能を移転させ、新キャンパスを本キャンパスとし、現在、経営学研究科・法学研究科・経営学部、法学部の 2 研究科 2 学部の学生、約 3,000 名が学んでいます。

本キャンパスでは、学生の学修、研究に資する最新の設備・機器を備えることはもちろん、学生にとって居心地の良い環境(アメニティ)を提供することで、総合的な教育環境の充実化を図っています。

一方、大行寺キャンパスは、2021 年度に再整備が完了し、四季を感じながら快適に学業に打ち込める教育学部に特化したキャンパスとなっています。

・朝食提供の取り組み

健康を基礎とした環境を整えるために学生食堂での朝食を無料および 100 円で提供しています（4 月授業期間のみ無料）。学生の金銭的負担を軽くするため、大学負担による低価格での提供を行っており、この取り組みは 1999 年から行っている取組です。2020、2021 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっていましたが、2022 年度は 3 年ぶりに実施しました。

（イ） キャリア支援の推進

・「スクールサポート」の取り組み

白鷗大学独自のシステムである「スクールサポート」では、入学時から教員を志している学生が多い教職課程履修者を中心に、学生が実際の教育現場に参加することができ、現場経験を積むことで学生の視野を広げています。学生は連携する地域の小・中学校で現職教員の指導の下、児童・生徒の学習活動や部活動等の支援を行います。2022 年度は、栃木県小山市、下野市、茨城県古河市、結城市の 48 校に、129 人の学生が参加しました。

（ウ） 国際交流分野の強化

・海外留学、海外研修の取り組み

全学生を対象とした交換留学制度・海外研修、また経営学部の学生を対象とした任意の留学制度を海外 18 大学との交流協定のもとに進めています。在学生が中心となって活動する国際交流プロジェクト「SIPS」では、オンデマンド留学やスタディラウンジなど、留学啓発・国際交流ができる場を学内に提供し、外国語や異文化に触れられる活動を積極的に行っています。また一方で海外留学に伴う様々なリスク管理にも目を向け、安全で充実した海外生活支援を進めています。

（エ） 地域・社会貢献活動の強化

・小山市との連携事業

白鷗大学と小山市は、2007 年 3 月に、人財、教育・研究、産業・雇用をはじめとする各分野で連携と協力により、地域の課題に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的に、連携に関する協定を締結し、年に 1 度連携事業報告会を開催しています。（2022 年度は小山市と連携協定を結ぶ団体等が一堂に会しての開催となりました。）

・結城市との連携事業

白鷗大学と結城市は、2016 年 3 月に、地域振興、学校教育・生涯学習、研究・人材育成、健康・福祉をはじめとする各分野で連携・協力することにより、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的に連携協定を締結し、年に 1 度連携事業報告会を開催しています。（2022 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催となりました。）

・栃木市との包括連携事業

白鷗大学と栃木市は、2018 年 3 月に、地域振興及びまちづくり、地域人材育成、教育の振興など各分野で連携・協力することにより、相互の発展を図ることを目的に連携協定を締結しています。

・栃木県と地方創生の推進に向けた連携協定

白鷗大学と栃木県は、2022 年 3 月に、地域の課題に関する調査・研究、地域づくりを担う人材の育成、その他目的を達成するために必要な分野に関する連携協定を締結しました。

・白鷗フォーラムの取り組みについて

2022 年度の白鷗フォーラムは、新型コロナウイルスの影響により WEB フォーラム形式にて開催いたしました。

（講師：北山修 学長　全体（全 3 回）を通じたテーマは、「きたやまおさむと語る『危機と日本人』」）

第 1 回目　7 月 10 日（日）　「いまよみがえる『イムジン河』～この分断の時代に～」
ゲスト：坂崎幸之助氏（シンガーソングライター　THE ALFEE）　松山　猛氏（エッセイスト）
司会進行：菅家ゆかり氏（フリーアナウンサー）

第 2 回目　9 月 25 日（日）　「いまを生き残るための深層心理学～この分断の時代に～」
ゲスト：後藤謙次氏（本学名誉教授）　坂崎幸之助氏（シンガーソングライター　THE ALFEE）
司会進行：菅家ゆかり氏

第 3 回目　12 月 11 日（日）　「求められるリーダーとは～この混迷の時代に～」
ゲスト：栗山英樹氏（野球日本代表「侍ジャパン」監督）　田中優子氏（江戸文化研究者）
司会進行：菅家ゆかり氏（フリーアナウンサー）

（オ）　高等教育修学支援認定校に選定

高等教育の修学支援新制度（※）では、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第 8 号）に基づき、一定の要件を満たすことの確認を受けた大学等を対象機関とすることとしており、本学は、高等教育の修学支援新制度の支援対象機関として認定されています。

※高等教育の修学支援新制度

支援対象となる学生（入学生・在学生）が、「機関要件」を満たした大学等（支援対象機関）に入学・在学することで、授業料・入学料の減免や日本学生支援機構による給付型奨学金の支給が行われる制度です。（2020 年度から実施）

（2）　コロナ禍における大学の授業

2022年度の授業は、これまでの得られた知見を活かし新型コロナウイルス感染防止及び学生の授業環境確保の趣旨、カリキュラムや授業科目の特性を踏まえ、全ての科目と対面で実施することを原則としました。

（3）　2022 年度卒業・修了者数（9 月卒業生含む）

（2023年3月31日現在）

大学		卒業者数	
経営学部	経営学科	432　名	
法学部	法律学科	298	
教育学部	発達科学科	476	
	児童教育専攻	内訳	237
	スポーツ健康専攻		105
	英語教育専攻		76
	心理学専攻		58
	大学計	1,206	
大学院		修了者数	
経学研究科		1	
法学研究科		3	
	大学院計	4	
	総合計	1,210	

（4）　学業特待制度について

優秀な学生の経済的負担を少しでも軽減し、安心して学業に専念できる環境を整えるために、白鷗大学では開学以来独自の学業特待制度を設けています。この制度によって減免された費用を留学や資格取得の資金に充てるなど、多くの学業特待生が充実した学生生活を送っています。対象者は全定員の 3 割以上で、成績上位者には面接選考で学費全額免除の資格を受けることができます。また 2 年次末には資格の見直しがあり、学生の学習意欲を高める役割を果たしています。

（5）　キャンパス概要

本キャンパス

（大学院経営学研究科、大学院法学研究科、
経営学部、法学部）
〒323-8586
栃木県小山市駅東通り 2-2-2
TEL 0285-22-1111
JR 小山駅東口より徒歩 1 分

大行寺キャンパス

（教育学部）
〒323-8585
栃木県小山市大行寺 1117
TEL 0285-22-8900
JR 小山駅西口より無料スクールバスで 5 分、または徒歩 20 分

3．白鷗大学足利高等学校の基本計画

（1）　教育活動の概要

白鷗大学足利高等学校は、１科（普通科）4 コースを有する総合高校で 2 つのキャンパスでそれぞれの特色ある教育体制を敷いています。

本校舎では、一人ひとりの個性を大切にし、主体性の確立をめざすことにより、多様な進路の実現を図っています。「文理進学コース」、「総合進学コース」等併せて 743 名の生徒が学んでいます。富田キャンパスでは、緑に囲まれた静かな環境の中で、徹底した受験指導により、生徒たちの希望する大学への進路実現を図っています。「特別進学コース」、「進学コース」の生徒 557 名が学んでいます。

「PLUS　ULTRA」（さらに向こうへ）を教育目標とし、自立精神の涵養、責任と義務の会得、豊かな良識と個性の伸長に励んでいます。2022 年度入試では本校舎・富田キャンパスを合わせ北海道大学、東北大学を含め国公立大学に 27 名が合格しました。また、早稲田大学、慶応義塾大学、上智大学、東京理科大学、明治大学、青山学院大学、立教大学等私立大学に 260 名が合格しました。うち白鷗大学には 79 名が入学しました。

（2）　重点事業の概要

「ＳＳＨ」から「ＨＳＳ」へ

平成 25 年度～30 年度までの 5 年間、文部科学省の指定を受けて実施したスーパーサイエンスハイスクール(SSH)活動を白鷗スーパーサイエンス(HSS)活動として継承しています。

・富田キャンパスでは、大学や研究機関・企業との連携を深め、キャリア教育・生涯教育を軸として最先端の科学技術を体験させるなど、新たな教育プログラムを開発することにより、科学的思考力や問題解決能力を一層高め、理数系スペシャリストを育成します。具体的には、大学教授による出張講演、大学研究室訪問、地域貢献も担う小学生を対象とした「白鷗理科教室」、科学体験講座、課題研究などに取り組んでいます。

・本校舎では、富田キャンパス同様に科学的思考力や問題解決能力を育成することに加え、探求学習への取り組みや環境問題をテーマとした研究を重視しています。具体的には、環境問題を軸とした理科・社会の科目横断型探求活動、大学見学、授業体験、企業見学、英語講座などに取り組んでいます。

部活動の活発化

本校舎を中心とした部活動も活発で、硬式野球部、女子バスケットボール部、女子サッカー部柔道部、陸上部などの運動部をはじめ、毎年、県大会、関東大会、そして全国大会に複数の部が出場し上位の成績を収めています。

（3）　卒業者数

科	卒業者数
普通科	387 名

*2023 年 3 月 1 日、卒業式を挙行。

４．白鷗大学足利中学校の基本計画

（１）　教育活動の概要

白鷗大学足利中学校では、生徒各自の進路実現をめざし、家庭的な雰囲気の中で、基礎学力の充実や品性の陶冶を旨とする教育を行っています。2011 年度に理系大学進学をめざす中高一貫教育コースを開設し、進学教育コース（卒業時に自由に進路選択できる従来のコース）との 2 コース体制に移行しましたが、2017 年度入学生からは、全員が白鷗大学足利高等学校への入学資格を有した状態で、卒業時に自由に進路選択可能な単一の新体制に発展進化しています。

「PLUS ULTRA～さらに向こうへ～」の校訓のもと、生徒の天分や秘められた可能性を最大限に引き出す教育活動を展開しています。

（２）　重点事業の概要

確かな学力と高い知性の習得：平日は 7 時間授業、土曜日は 3 時間授業（第 3・5 土曜日は除く）を実施し、主要 5 教科の授業時間数を多く確保しています。また英語・数学においては、少人数編成の習熟度別授業を実施し、一部のクラスでは先取り学習も行っています。さらに 1 年次より平日および夏季休業中に補習授業を実施しています。

異文化理解の深化：ネイティブによる英語コミュニケーション授業を実施して言語活動の充実に努めています。また教育目標の「広く国際的な感覚を身につける」を具現化する行事として、オーストラリアでのホームステイを中心とした海外研修旅行（2 年生対象）を実施しています。さらに外部講師を招聘した国際理解講座も行っています。

学校行事の運営：林間学校、体育祭、予餞会など主な学校行事の企画・運営は生徒主体で行っており、生徒一人一人の豊かな人間性の育成に役立っています。また異学年交流行事が多く、主体性・協調性の涵養のみならずリーダーシップの育成にも役立っています。

セミナーの実施：有識者や白鷗大学を含む大学教員等によるシーガルセミナーや講座の実施を通じて、生徒の人間力を高める教育に力を入れています。

（３）　卒業者数

卒業者数
42 名

＊2023 年 3 月 4 日、第 60 回卒業式を挙行。

5.　白鷗大学はくおう幼稚園の基本計画

（1）　教育活動の概要

はくおう幼稚園では、「子ども一人ひとりが認められ、自分の存在を実感できる幼稚園」、具体的には、

1. 子ども一人一人が自らの存在を実感し、居がいを持ち生き生きと活動する幼稚園
2. 子ども一人一人が基本的な生活習慣を身につけた幼稚園
3. 教育環境が機能的に整備された幼稚園
4. 保護者や地域から信頼される幼稚園
5. 職員一人一人が自らの資質・能力の向上に努める幼稚園

を目指して日々の教育･保育に取り組んでいます。2022 年度は年少 24 名、年中 33 名、年長 33 名、計 90 名の園児でスタートを切りました。下記にあるような行事や日常の遊びや製作などをとおして社会性を育み、豊かな心とたくましい体づくりを目指して保育に取り組んでいます。

主な行事
入園式、さつま苗植え、七夕祭り、お泊り保育、夕涼み会、十五夜、運動会、やきいもパーティ、おゆうぎ会、おもちつき、ひなまつり、卒園式　など
※コロナ禍による中止：クラス別お茶会、家族で楽しむ日、家庭訪問、職場見学、雪あそび、保育参加
※コロナ禍による形を変えての実施：さつま苗植え→先生による実施、お泊り保育→お楽しみ保育（宿泊無し）、夕涼み会→夏祭り（園庭で実施）、おゆうぎ会→学年別開催

（2）　重点事業の概要

課外活動：外部講師を招聘して、英語、サッカー、ダンスなどの課外活動を年間通して実施するなど、はくおう幼稚園ならではのプログラムを行うことで次の時代をたくましく生きる子どもを育てることを目指しています。英語は外国人講師、サッカーは外部講師、ダンスは白鷗大学ダンス部・サークル学生による指導を行っており、法人内外との連携を持った活動を展開しています。

未就園支援事業：「おひさまクラブ」、「Fun Fun Kids」、「ママといっしょに」の運営を通じて、未就園の子どもたちの社会性をはぐくみ、集団生活に慣れさせるとともに保護者の子育て支援にも寄与しています。

（3）　卒園者数

クラス	卒園者数
年長	33 名

2023 年 3 月 19 日、第 47 回卒園式を挙行。

Ⅲ.財務の概要

１．　学校法人会計について

学校法人とは、学校教育法および私立学校法の定めるところにより、私立学校（幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、大学院）の設置・運営を目的として設立される法人のことです。学校法人は、寄附行為において、その目的、名称、設置する私立学校の種類、名称等の事項を定め、所轄庁の認可を得て設立されるもので、設置者の理念である建学の精神や学校独自の教育研究活動の理念・目標に基づいて教育研究活動を行い、その成果を社会に還元することを目的としており、企業のように営利目的の事業活動を行うことを目的としていません。そのため、学校法人会計と企業会計とでは、会計の目的が異なります。

企業会計においては、損益を正しく計算し、企業の業績及び財政状態を利害関係者に示すことを目的としていますが、学校法人会計においては、損益よりも、予算計画に基づいて永続的な教育研究活動を行うために必要となる運営資金を安定的に確保し、教育研究活動が健全に行われていることを利害関係者に示すことを目的としています。

また、学校法人はその事業を行うにあたり、必要な施設や設備およびこれらに要する資金等経営に必要な財産を保持するために、自己資金のほかに国や地方公共団体等から経常的経費について補助を受けています。この補助制度が創設されるに当たり、公的な補助を受ける学校法人の公共性を高め、適正な会計処理を行わせることを目的として、1971（昭和 46）年に統一的な会計基準が制定されました。それが学校法人会計基準です。学校法人においては、学校法人会計基準に則り、会計処理を行い、計算書類（財務諸表）を作成することが義務付けられています。学校法人会計基準は、社会・経済状況の大きな変化、会計のグローバル化等を踏まえた様々な会計基準の改正、私学を取り巻く経営環境の変化等を受けて、公教育を担う学校法人の経営状態について、社会にわかりやすく説明する仕組みが求められていることから、2013（平成 25）年に改正され、2015（平成 27）年度の財務諸表より適用されることとなりました。

なお、企業における財務諸表は、損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書ですが、学校法人における財務諸表は、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表となっています。

２．　2022 年度決算の概要

2022 年度（2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで）の決算の概要のうち、主なものについて説明します。

【資金収支計算書】

資金収支計算書は、1 年間の収入･支出毎の資金の流れの総額を表したものであり、企業会計における「キャッシュフロー計算書」に近似したものです。2021 年度の翌年度繰越支払資金は 5,097 百万円と前年度比 1,681 百万円の増加となりました。

（1）　　収入の部

①学生生徒等納付金収入（6,273 百万円）

授業料収入 4,253 百万円、入学金収入 491 百万円、施設設備資金収入 1,435 百万円。

②手数料収入（172 百万円）
入学検定料収入 163 百万円。2023 年度の志願者数は大学 4,736 名、高校 4,328 名、中学 83 名で総計 9,147 名でした。

③寄付金収入（22 百万円）
特別寄付金　4 百万円、一般寄付金　17 百万円。

④補助金収入（1,179 百万円）
国庫補助金収入　548 百万円
県費補助金収入　627 百万円
市費補助金収入　　3 百万円

⑤資産売却収入（584 百万円）
主なものは有価証券の売却収入です。昨年度比 14 百万円増加となっています。

⑥付随事業・収益事業収入（12 百万円）
新型コロナの影響も緩和されてきましたので付随する収入は増加の傾向にあります。

⑦受取利息・配当金収入（259 百万円）
有価証券及び引当資産等の運用による受取利息及び配当金です。昨年度比 47 百万円増加となっています。

⑧雑収入（344 百万円）
退職金財団交付金収入 173 百万円、退職金社団交付金収入 124 百万円で 2022 年度退職者に対する交付額です。施設設備利用料収入　33 百万円は土地・建物等の賃貸料及び教室貸出の利用料です。

⑨前受金収入（1,371 百万円）
2022 年度に入学手続きをした 2023 年度新入生の納付金です。

⑩その他の収入（1,244 百万円）
特定資産の早期償還等の減少により、前年度比 1,726 百万円減少となっています。

⑪資金収入調整勘定（1,672 百万円）
期末未収入金　343 百万円
補助金収入、雑収入等には未収入分が含まれているので、その額を控除しています。
前期末前受金　1,328 百万円
前年度末に受け入れた当年度分の収入が学生生徒等納付金収入に含まれているので、その額を控除したものです。

（２）　支出の部

①人件費支出（3,875 百万円）

教員人件費 2,613 百万円、職員人件費 906 百万円、退職金 304 百万円。

②教育研究経費支出（2,242 百万円）

教育研究部門の諸経費で、主なものは特待生の授業料減免額等である奨学費支出 1,005 百万円。
学生生徒活動補助費支出 107 百万円、設備の管理委託料支出 429 百万円です。

③管理経費支出（615 百万円）

教育研究費支出に計上されていない管理部門の諸経費（主なものは学生募集費等）です。

④借入金等利息支出（11 百万円）

日本私立学校振興・共済事業団及び市中金融機関からの借入金に対する支払利息です。

⑤借入金等返済支出（800 百万円）

日本私立学校振興・共済事業団及び市中金融機関からの借入金の返済額です。

⑥施設関係支出（2,188 百万円）

前年度比 1,854 百万円増加となっています。

⑦設備関係支出（105 百万円）

教育研究用機器備品支出	45 百万円
管理用機器備品支出	15 百万円
図書支出	24 百万円
車両支出	15 百万円
ソフトウェア支出	4 百万円

⑧資産運用支出(932 百万円)

特定資産の期日前償還分の買い替えの減少により、前年度比 964 百万円増加としています。

⑨その他支出（654 百万円）

主なものは前期末未払金支払支出と預り金支払支出です。

【事業活動収支計算書】

事業活動収支計算書は、経営の状況について表したものであり、企業会計における「損益計算書」に近似したものです。2022 年度基本金組入前当年度収支差額は 415 百万円となり前年度比 184 百万円の減少となりました。資金収支計算書で説明したものは省略します。

1. 教育活動収支差額（88 百万円）

（1）教育活動収入（7,978 百万円）

①学生生徒等納付金

大学部門前年度比 30 百万円の増加、高校部門前年度比 15 百万円の増加となりました。

②経常費等補助金

大学部門における補助金の増加 82 百万円、高校部門は 7 百万円の増加となりました。

③雑収入

大学部門における退職者は増加したことにより 124 百万円増加となり、高校部門における退職者は減少したことにより 34 百万円減少しました。

(2)教育活動支出（7,889 百万円）

①人件費

大学は 231 百万円の増加、高校は 5 百万円の減少、中学は 28 百万円の減少、幼稚園は 10 百万円の増加により 192 百万円の増加となりました。

②教育研究経費

全体的に増加しており、前年度比 89 百万円の増加となりました。

③管理経費

全体的な増加により、18 百万円増加となりました。

以上の要因等により教育活動収支差額は 88 百万円となり、前年度比 328 百万円減少となっています。

2. 教育活動外収支差額（250 百万円）

(1)教育活動外収入（262 百万円）

①受取利息・配当金

運用相場環境が良好なことにより、前年度比 47 百万円の増加となりました。

(2)教育活動外支出（11 百万円）

①借入金等利息

800 百万円の元金返済により、前年度比 4 百万円の減少となりました。

以上の要因等により教育活動外収支差額は 250 百万円となり、前年度比 51 百万円増加となりました。

この結果、経常収支差額（教育活動収支差額と教育活動外収支差額の合計）は、339 百万円となり、前年度比 277 百万円減少となりました。

3. 特別収支差額（76 百万円）

(1) 特別収入（80 百万円）

①その他の特別収入

有価証券の売却差額や施設設備補助金等によるもので、前年度比 64 百万円の増加となりました。

(2) 特別支出（4 百万円）

①その他の特別支出

ほとんどが図書の除却によるものであり、前年度比 27 百万円の減少となりました。

以上の要因等により特別収支差額は 76 百万円となり、前年度比 92 百万円増加となりました。

4. 基本金組入額

第 1 号基本金組入額は、校地・校舎・構築物・器具備品・図書等の当年度取得額及び過年度において資産取得にあてた借入金の当年度返済額等を示すもので、1,689 百万円組入れています。

【貸借対照表】

貸借対照表は、学校法人の期末における資産と負債・基本金・消費収支差額の状況を表示して、財政状態を表しています。資産総額から負債総額を差し引いた「純資産」は前年度より 415 百万円増加し、35,540 百万円となりました。

(1)資産の部

①有形固定資産

有形固定資産は減価償却累計額を控除した金額で表示しています。建設仮勘定の増加により昨年度より 1,111 百万円増加しています。

②退職給与引当特定資産

将来の教職員の退職金支払いに備えて引当資産化したものです。

③減価償却引当特定資産

将来取壊しが予定されている施設設備の減価償却累計額を引当資産化したものです。

(2)負債の部

①借入金

短期借入金 8 億円の返済を行いました。2023 年度に返済予定の借入金 4 億円は短期借入金へ振替えています。また、新たに高校富田校舎と中学の新校舎建設のため 1,200 百万円の借入を行っています。

②退職給与引当金

大学は私立大学退職金財団へ加入しております。期末退職金要支給額と同財団に対する掛け金の累積額と交付金の累積額との調整額を加減した金額の 100%を退職給与引当金として計上しています。

(3)基本金の部

①第 1 号基本金

現在所有している校地・校舎・機器備品・図書等の資産を自己資金で調達した総額を示したものです。

②第 4 号基本金

学校法人の恒常的に保持すべき運転資金としての基本金です。

法人名： 学校法人白鷗大学

資 金 収 支 計 算 書

2022年 4月 1日から
2023年 3月31日まで

＜総括表＞ （単位 円）

収入の部			
科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
学生生徒等納付金収入	6,223,240,000	6,273,830,869	△ 50,590,869
手数料収入	186,050,000	172,190,132	13,859,868
寄付金収入	15,160,000	22,641,043	△ 7,481,043
補助金収入	1,149,699,000	1,179,195,944	△ 29,496,944
国庫補助金収入	528,489,000	548,421,900	△ 19,932,900
地方公共団体補助金収入	621,210,000	630,774,044	△ 9,564,044
資産売却収入	582,500,000	584,550,489	△ 2,050,489
付随事業・収益事業収入	7,400,000	12,930,356	△ 5,530,356
受取利息・配当金収入	229,500,200	259,713,985	△ 30,213,785
雑収入	317,342,500	344,855,727	△ 27,513,227
借入金等収入	1,200,000,000	1,200,000,000	0
前受金収入	1,277,100,000	1,371,928,269	△ 94,828,269
その他の収入	1,251,336,269	1,244,153,160	7,183,109
資金収入調整勘定	△ 1,652,009,761	△ 1,672,730,822	20,721,061
前年度繰越支払資金	5,097,406,136	5,097,406,136	0
収入の部合計	15,884,724,344	16,090,665,288	△ 205,940,944
支出の部			
科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
人件費支出	3,897,987,740	3,875,745,999	22,241,741
教育研究経費支出	2,268,430,000	2,242,930,862	25,499,138
管理経費支出	729,528,000	615,790,289	113,737,711
借入金等利息支出	11,340,000	11,175,444	164,556
借入金等返済支出	800,000,000	800,000,000	0
施設関係支出	2,233,000,000	2,188,024,280	44,975,720
設備関係支出	124,660,000	105,392,189	19,267,811
資産運用支出	898,000,000	932,059,238	△ 34,059,238
その他の支出	621,792,635	654,564,200	△ 32,771,565
〔予備費〕	（ 47,000,000 ） 3,000,000		3,000,000
資金支出調整勘定	△ 391,077,248	△ 335,939,545	△ 55,137,703
翌年度繰越支払資金	4,688,063,217	5,000,922,332	△ 312,859,115
支出の部合計	15,884,724,344	16,090,665,288	△ 205,940,944

法人名： 学校法人白鷗大学

活 動 区 分 資 金 収 支 計 算 書

2022年 4月 1日から
2023年 3月31日まで

＜総括表＞ （単位 円）

		科 目	金 額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	6,273,830,869
		手数料収入	172,190,132
		経常費等補助金収入	1,156,776,944
		教育活動資金収入計	7,981,101,655
	支出	人件費支出	3,875,745,999
		教育研究経費支出	2,242,930,862
		教育活動資金支出計	6,734,467,150
	差引		1,246,634,505
	調整勘定等		▲ 116,621,072
	教育活動資金収支差額		1,130,013,433
施設整備等活動による資金収支		科 目	金 額
	収入	施設設備補助金収入	22,419,000
		施設整備等活動資金収入計	511,072,956
	支出	施設関係支出	2,188,024,280
		設備関係支出	105,392,189
		施設整備等活動資金支出計	2,693,587,469
	差引		▲ 2,182,514,513
	調整勘定等		0
	施設整備等活動資金収支差額		▲ 2,182,514,513
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）			▲ 1,052,501,080
その他の活動による資金収支		科 目	金 額
	収入	借入金等収入	1,200,000,000
		受取利息･配当金収入	259,713,985
		その他の活動資金収入計	2,512,640,952
	支出	借入金等返済支出	800,000,000
		借入金等利息支出	11,175,444
		その他の活動資金支出計	1,556,623,676
	差引		956,017,276
	調整勘定等		0
	その他の活動資金収支差額		956,017,276
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）			▲ 96,483,804
前年度繰越支払資金			5,097,406,136
翌年度繰越支払資金			5,000,922,332

法人名： 学校法人白鷗大学

事 業 活 動 収 支 計 算 書

2022年 4月 1日から

2023年 3月31日まで

＜総括表＞ （単位 円）

		科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	6,223,240,000	6,273,830,869	△ 50,590,869
		手数料	186,050,000	172,190,132	13,859,868
		寄付金	13,710,000	20,908,017	△ 7,198,017
		経常費等補助金	1,127,280,000	1,156,776,944	△ 29,496,944
		国庫補助金	506,070,000	526,002,900	△ 19,932,900
		地方公共団体補助金	621,210,000	630,774,044	△ 9,564,044
		付随事業収入	7,400,000	12,679,616	△ 5,279,616
		雑収入	317,342,500	341,932,834	△ 24,590,334
		教育活動収入計	7,875,022,500	7,978,318,412	△ 103,295,912
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		人件費	3,901,987,740	3,878,032,898	23,954,842
		教育研究経費	3,268,630,000	3,239,944,266	28,685,734
		管理経費	876,931,315	771,812,600	105,118,715
		徴収不能額等	0	0	0
		教育活動支出計	8,047,549,055	7,889,789,764	157,759,291
教育活動収支差額			△ 172,526,555	88,528,648	△ 261,055,203
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		受取利息・配当金	229,500,200	262,095,665	△ 32,595,465
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	229,500,200	262,095,665	△ 32,595,465
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		借入金利息	11,340,000	11,175,444	164,556
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	11,340,000	11,175,444	164,556
教育活動外収支差額			218,160,200	250,920,221	△ 32,760,021
経常収支差額			45,633,645	339,448,869	△ 293,815,224
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産売却差額	45,000,000	50,127,772	△ 5,127,772
		その他の特別収入	23,869,000	30,411,144	△ 6,542,144
		特別収入計	68,869,000	80,538,916	△ 11,669,916
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産処分差額	0	4,123,754	△ 4,123,754
		その他の特別支出	0	315,700	△ 315,700
		特別支出計	0	4,439,454	△ 4,439,454
特別収支差額			68,869,000	76,099,462	△ 7,230,462
〔予備費〕			（ 47,000,000 ） 3,000,000		3,000,000
基本金組入前当年度収支差額			111,502,645	415,548,331	△ 304,045,686
基本金組入額合計			△ 1,109,000,000	△ 1,689,800,243	580,800,243
当年度収支差額			△ 997,497,355	△ 1,274,251,912	276,754,557
前年度繰越収支差額			△ 10,198,276,034	△ 10,198,276,034	0
基本金取崩額			0	3,067,400	△ 3,067,400
翌年度繰越収支差額			△ 11,195,773,389	△ 11,469,460,546	273,687,157

（参考）

事業活動収入計	8,173,391,700	8,320,952,993	△ 147,561,293
事業活動支出計	8,061,889,055	7,905,404,662	156,484,393

法人名： 学校法人白鷗大学

貸 借 対 照 表

2023年3月31日

＜総括表＞ （単位 円）

資産の部			
科　　目	本 年 度 末	前 年 度 末	増　　減
固定資産	32,068,074,477	31,007,648,627	1,060,425,850
有形固定資産	29,145,037,137	28,033,984,095	1,111,053,042
特定資産	2,239,786,246	2,334,378,492	△ 94,592,246
その他の固定資産	683,251,094	639,286,040	43,965,054
流動資産	7,938,078,366	8,278,668,358	△ 340,589,992
資産の部合計	**40,006,152,843**	**39,286,316,985**	**719,835,858**
負債の部			
科　　目	本 年 度 末	前 年 度 末	増　　減
固定負債	1,073,007,663	1,471,255,661	△ 398,247,998
流動負債	3,392,876,421	2,690,340,896	702,535,525
負債の部合計	**4,465,884,084**	**4,161,596,557**	**304,287,527**
純資産の部			
科　　目	本 年 度 末	前 年 度 末	増　　減
基本金	47,009,729,305	45,322,996,462	1,686,732,843
第1号基本金	46,519,729,305	44,832,996,462	1,686,732,843
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	490,000,000	490,000,000	0
繰越収支差額	△ 11,469,460,546	△ 10,198,276,034	△ 1,271,184,512
純資産の部合計	**35,540,268,759**	**35,124,720,428**	**415,548,331**
負債及び純資産の部合計	**40,006,152,843**	**39,286,316,985**	**719,835,858**

財　産　目　録

2023年 3月31日現在

Ⅰ　資産総額	40,006,152,843	円
内　基本財産	29,496,656,253	円
運用財産	10,509,496,590	円
Ⅱ　負債総額	4,465,884,084	円
Ⅲ　正味財産	35,540,268,759	円

（単位：円）

区　　分		金　額
資産額		
一．基本財産		29,496,656,253
１．土地（借地権を含む）	258,955 ㎡	6,172,674,231
２．建物	118,114 ㎡	17,896,490,328
３．構築物		906,355,394
４．図書	294,232 冊	1,270,955,005
５．教具・校具・備品	4,957 点	1,148,177,514
６．建設仮勘定		2,015,094,000
７.その他		86,909,781
二．運用財産		10,509,496,590
１．預金・現金		5,000,922,332
２．積立金		155,491,680
３．退職給与引当特定資産		1,070,151,146
４．減価償却引当特定資産		1,169,635,100
５．第2号基本金引当特定資産		0
６．有価証券		2,505,451,028
７．その他		607,845,304
資 産 総 額		40,006,152,843
負債額		
1.固定負債		1,073,007,663
⑴長期借入金		0
⑵退職給与引当金		1,073,007,663
２.流動負債		3,392,876,421
⑴短期借入金		1,600,000,000
⑵前受金		1,371,928,269
⑶未払金		264,862,297
⑷預り金		156,085,855
負 債 総 額		4,465,884,084
正味財産（資産総額－負債総額）		35,540,268,759

経 年 比 較

（1） 資金収支の状況

（単位：千円）

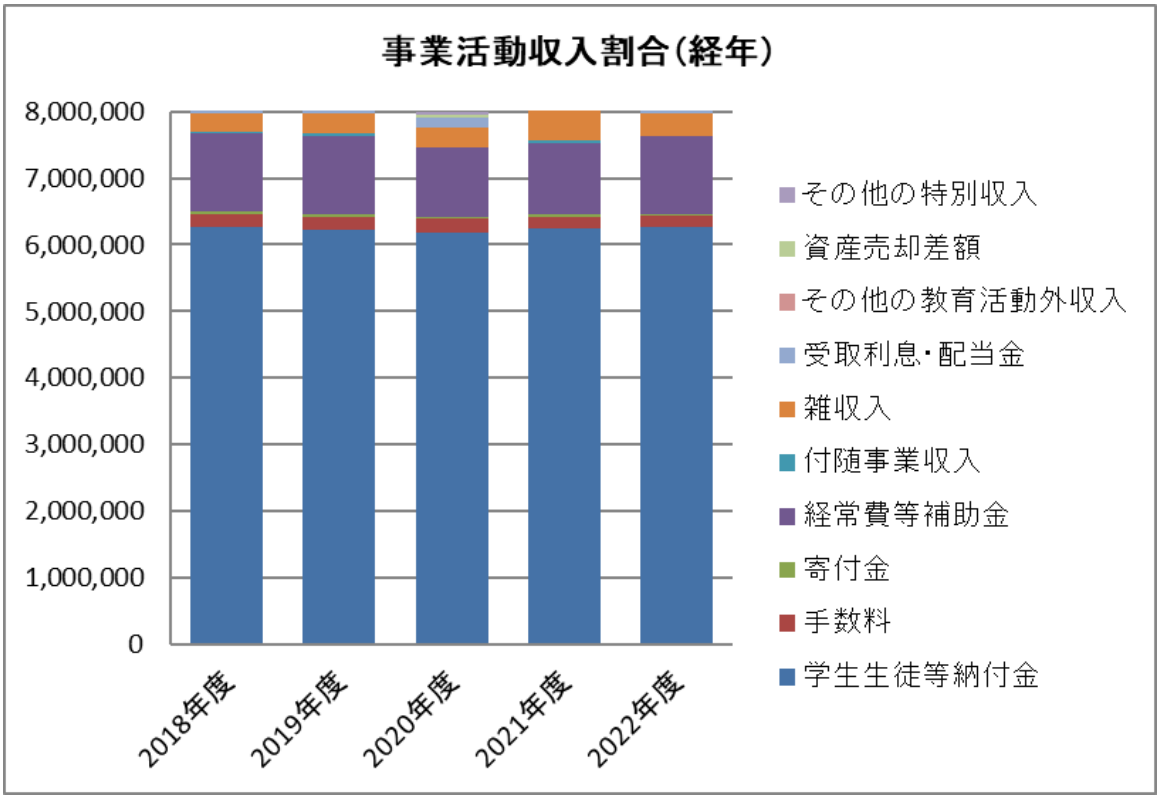
	科目	2018 年 度	2019 年 度	2020 年 度	2021 年 度	2022 年 度
収入の部	学生生徒納付金収入	6,265,697	6,221,695	6,183,482	6,236,455	6,273,830
	手数料収入	202,274	193,143	200,852	188,561	172,190
	寄付金収入	28,086	55,537	31,819	26,033	22,641
	補助金収入	1,173,257	1,178,775	1,078,789	1,076,779	1,179,195
	資産売却収入	365,554	14,798	95,976	570,437	584,550
	付随事業・収益事業収入	22,737	23,926	7,828	40,111	12,930
	受取利息・配当金収入	189,478	172,669	145,107	212,499	259,714
	雑収入	279,023	769,178	296,774	446,109	344,855
	借入金等収入	0	0	0	0	1,200,000
	前受金収入	1,222,129	1,220,306	1,285,468	1,328,948	1,371,928
	その他の収入	1,573,627	1,182,458	1,290,992	2,970,158	1,244,153
	資金収入調整勘定	△ 1,498,099	△ 1,479,304	△ 1,538,354	△ 1,574,714	△ 1,672,730
	前年度繰越支払資金	3,339,069	2,872,413	2,907,466	3,416,923	5,097,406
	合計	**13,162,832**	**12,425,594**	**11,986,199**	**14,938,299**	**16,090,665**
支出の部	人件費支出	3,746,090	3,811,506	3,687,033	3,632,194	3,875,746
	教育研究経費支出	2,465,533	2,516,088	2,376,570	2,160,700	2,242,931
	管理経費支出	670,182	705,199	556,864	606,881	615,790
	借入金等利息支出	32,468	29,580	22,651	15,653	11,176
	借入金等返済支出	500,000	800,000	800,000	800,000	800,000
	施設関係支出	682,821	304,598	279,365	333,034	2,188,024
	設備関係支出	430,258	193,172	140,041	249,277	105,392
	資産運用支出	1,227,148	914,025	742,966	1,896,069	932,059
	その他の支出	837,319	504,589	410,281	595,591	654,564
	資金支出調整勘定	△ 301,400	△ 260,627	△ 446,494	△ 448,503	△ 335,939
	次年度繰越支払資金	2,135,175	2,468,072	3,416,925	5,097,406	5,000,922
	合計	**13,162,832**	**12,425,594**	**11,986,199**	**14,938,299**	**16,090,665**

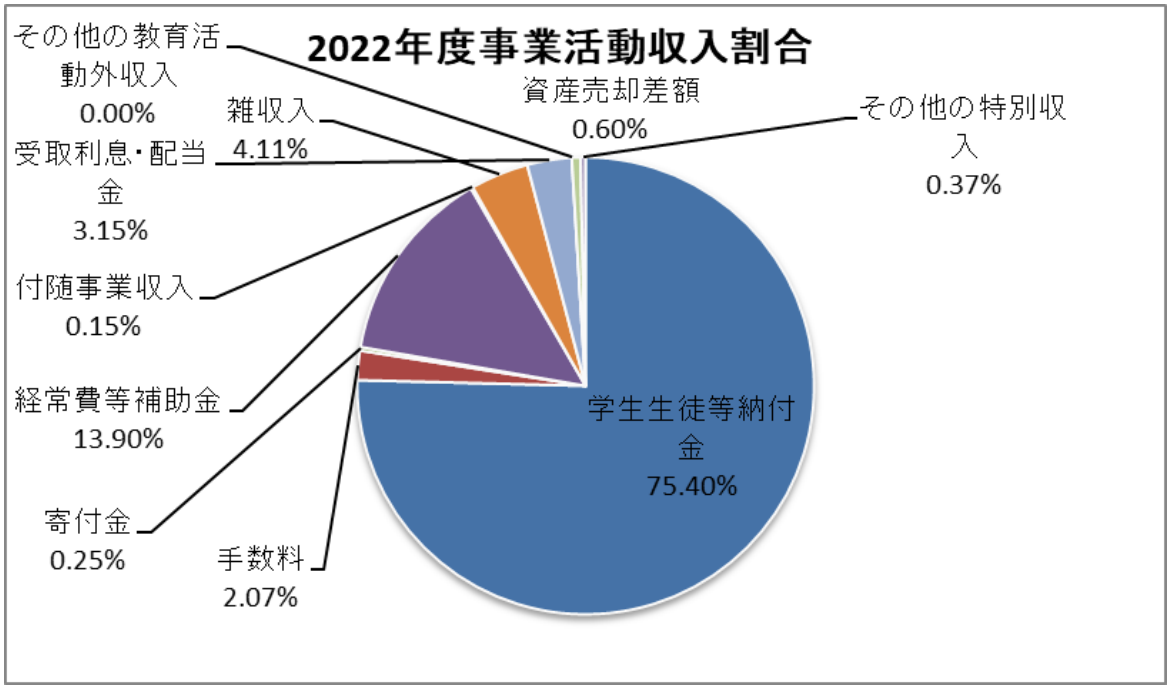
（2） 事業活動収支の状況

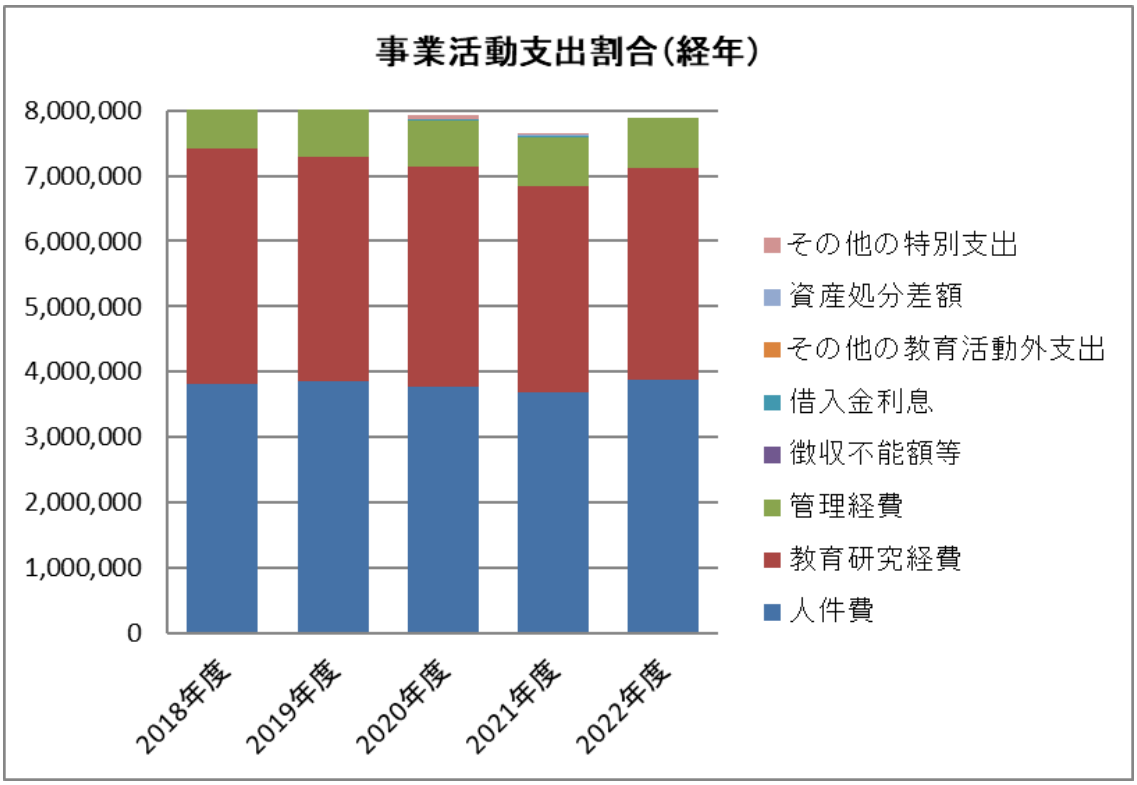
（単位：千円）

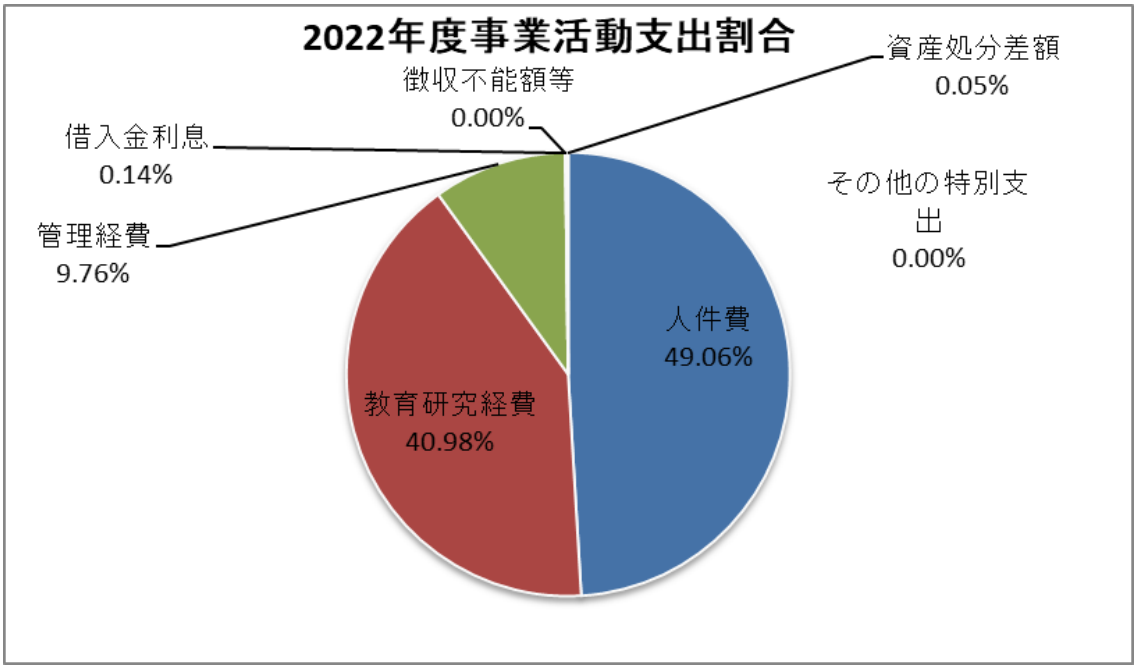
		科　　目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	6,265,697	6,221,695	6,183,482	6,236,455	6,273,831
		手数料	202,274	193,143	200,852	188,562	172,190
		寄付金	25,587	45,258	30,249	24,554	20,908
		経常費等補助金	1,173,257	1,178,775	1,041,857	1,076,779	1,156,777
		付随事業収入	22,716	24,480	7,400	40,061	12,679
		雑収入	277,896	303,250	296,324	439,833	341,933
		教育活動収入計	7,967,427	7,966,601	7,760,164	8,006,244	7,978,318
	事業活動支出の部	人件費	3,821,582	3,857,670	3,772,937	3,685,213	3,878,033
		教育研究経費	3,593,943	3,437,711	3,363,692	3,150,473	3,239,944
		管理経費	848,418	810,562	705,910	753,234	771,813
		徴収不能額等	0	0	607	0	0
		教育活動支出計	8,263,943	8,105,943	7,843,146	7,588,920	7,889,790
教育活動収支差額			△ 296,516	△ 139,342	△ 82,982	417,324	88,528
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	191,916	175,100	140,639	214,909	262,095
		その他の教育活動外収入	0	0	6,901	0	0
		教育活動外収入計	191,916	175,100	147,540	214,909	262,095
	事業活動支出の部	借入金利息	32,468	29,580	22,651	15,653	11,175
		その他の教育活動外支出	0	0			
		教育活動外支出計	32,468	29,580	22,651	15,653	11,175
教育活動外収支差額			159,448	145,520	124,889	199,256	250,920
経常収支差額			**△ 137,068**	**6,178**	**41,907**	**616,580**	**339,448**
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	39,701	1,292	47,964	5,458	50,127
		その他の特別収入	6,497	483,600	44,836	10,187	30,411
		特別収入計	46,198	484,892	92,800	15,645	80,538
	事業活動支出の部	資産処分差額	206,891	220,102	4,888	27,208	4,123
		その他の特別支出	0	349,834	49,500	4,885	315
		特別支出計	206,891	569,936	54,388	32,093	4,438
特別収支差額			△ 160,693	△ 85,044	38,412	△ 16,448	76,100
〔予備費〕							
基本金組入前当年度収支差額			**△ 297,761**	**△ 78,866**	**80,319**	**600,132**	**415,548**
基本金組入額合計			△ 898,406	△ 1,050,505	△ 992,039	△ 1,202,283	△ 1,689,800
当年度収支差額			△ 977,272	△ 970,186	△ 391,907	△ 602,151	△ 1,274,252
前年度繰越収支差額			△ 6,358,868	△ 7,555,033	△ 8,684,404	△ 9,596,125	△ 10,198,276
基本金取崩額			0	0	0	0	3,067
翌年度繰越収支差額			△ 7,336,140	△ 8,525,219	△ 9,076,311	△ 10,198,276	△ 11,469,460
(参考)							
事業活動収入計			8,626,593	8,000,504	8,236,798	8,236,800	8,320,952
事業活動支出計			8,705,459	7,920,185	7,636,666	7,636,668	7,905,404
事業活動収支差額			△ 78,866	80,319	600,132	600,132	415,548

経常収入	8,159,343	8,141,701	7,907,704	8,221,153	8,240,413
経常支出	8,296,411	8,135,523	7,865,797	7,604,573	7,900,965
経常収支差額	△ 137,068	6,178	41,907	616,580	339,448


事業活動収入割合(経年)
8,000,000
7,000,000
6,000,000
5,000,000
4,000,000
3,000,000
2,000,000
1,000,000
0
2018年度
2019年度
2020年度
2021年度
2022年度
その他の特別収入
資産売却差額
その他の教育活動外収入
受取利息・配当金
雑収入
付随事業収入
経常費等補助金
寄付金
手数料
学生生徒等納付金


2022年度事業活動収入割合
その他の教育活動外収入 0.00%
雑収入 4.11%
資産売却差額 0.60%
その他の特別収入 0.37%
受取利息・配当金 3.15%
付随事業収入 0.15%
経常費等補助金 13.90%
学生生徒等納付金 75.40%
寄付金 0.25%
手数料 2.07%


事業活動支出割合(経年)
8,000,000
7,000,000
6,000,000
5,000,000
4,000,000
3,000,000
2,000,000
1,000,000
0
2018年度
2019年度
2020年度
2021年度
2022年度
その他の特別支出
資産処分差額
その他の教育活動外支出
借入金利息
徴収不能額等
管理経費
教育研究経費
人件費


2022年度事業活動支出割合
資産処分差額
0.05%
徴収不能額等
0.00%
借入金利息
0.14%
管理経費
9.76%
その他の特別支出
0.00%
人件費
49.06%
教育研究経費
40.98%

（3） 貸借対照表の状況

（単位：千円）

資産の部					
科　　目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
固　定　資　産	35,223,892	34,493,303	32,600,539	31,007,648	32,068,074
有形固定資産	30,254,515	29,360,298	28,615,748	28,033,984	29,145,037
うち、土地	5,904,030	5,884,782	5,884,782	5,884,782	5,884,346
うち、建物	20,311,222	19,707,876	19,167,862	18,504,719	17,896,490
うち、構築物	1,230,713	1,123,934	1,044,999	1,027,109	906,355
うち、教育研究用機器備品	1,274,358	1,131,312	1,015,976	926,531	826,225
特定資産	4,336,283	4,451,152	3,333,183	2,334,378	2,239,786
その他の固定資産	633,094	681,853	651,608	639,286	683,251
流　動　資　産	5,370,769	5,245,947	6,759,823	8,278,668	7,938,078
うち、現金・預金	2,872,413	2,907,467	3,416,923	5,097,406	5,000,922
うち、有価証券	2,170,382	1,980,129	2,938,337	2,810,605	2,500,506
合　　計	40,594,661	39,739,250	39,360,362	39,286,316	40,006,152

負債・基本金及び消費収支差額の部					
科　　目	2019年度	2020年度	2021年度	2021年度	2022年度
負　　債	6,071,528	5,294,980	4,835,773	4,161,596	4,465,883
固　定　負　債	3,686,169	2,932,333	2,218,236	1,471,255	1,073,007
うち、長期借入金	2,800,000	2,000,000	1,200,000	400,000	0
うち、退職給与引当金	886,169	932,333	1,018,236	1,071,255	1,073,007
流動負債	2,385,359	2,362,647	2,617,537	2,690,340	3,392,876
うち、前受金	1,222,129	1,220,306	1,285,468	1,328,948	1,371,928
基　本　金	42,078,168	43,128,673	44,120,713	45,322,996	47,009,729
第 1 号 基 本 金	41,588,168	42,638,673	43,630,713	44,832,996	46,519,729
第 2 号 基 本 金	0	0	0	0	0
第 3 号 基 本 金	0	0	0	0	0
第 4 号 基 本 金	490,000	490,000	490,000	490,000	490,000
消 費 収 支 差 額	△ 7,555,033	△ 8,684,404	△ 9,596,125	△ 10,198,276	△ 11,469,460
(何)年度消費支出準備金	0	0			
翌年度繰越し消費収入超過額又は △翌年度繰越し消費支出超過額	△ 7,555,033	△ 8,684,404	△ 9,596,125	△ 10,198,276	△ 11,469,460
合　　計	40,594,663	39,739,249	39,360,359	39,286,316	40,006,152
減価償却額の累計額の合計額	14,111,842	15,320,989	16,302,568	17,270,341	18,411,958
基 本 金 未 組 入 額	3,631,585	2,846,386	2,021,289	1,304,192	1,603,741

(4)財 務 比 率 表

（単位:%）

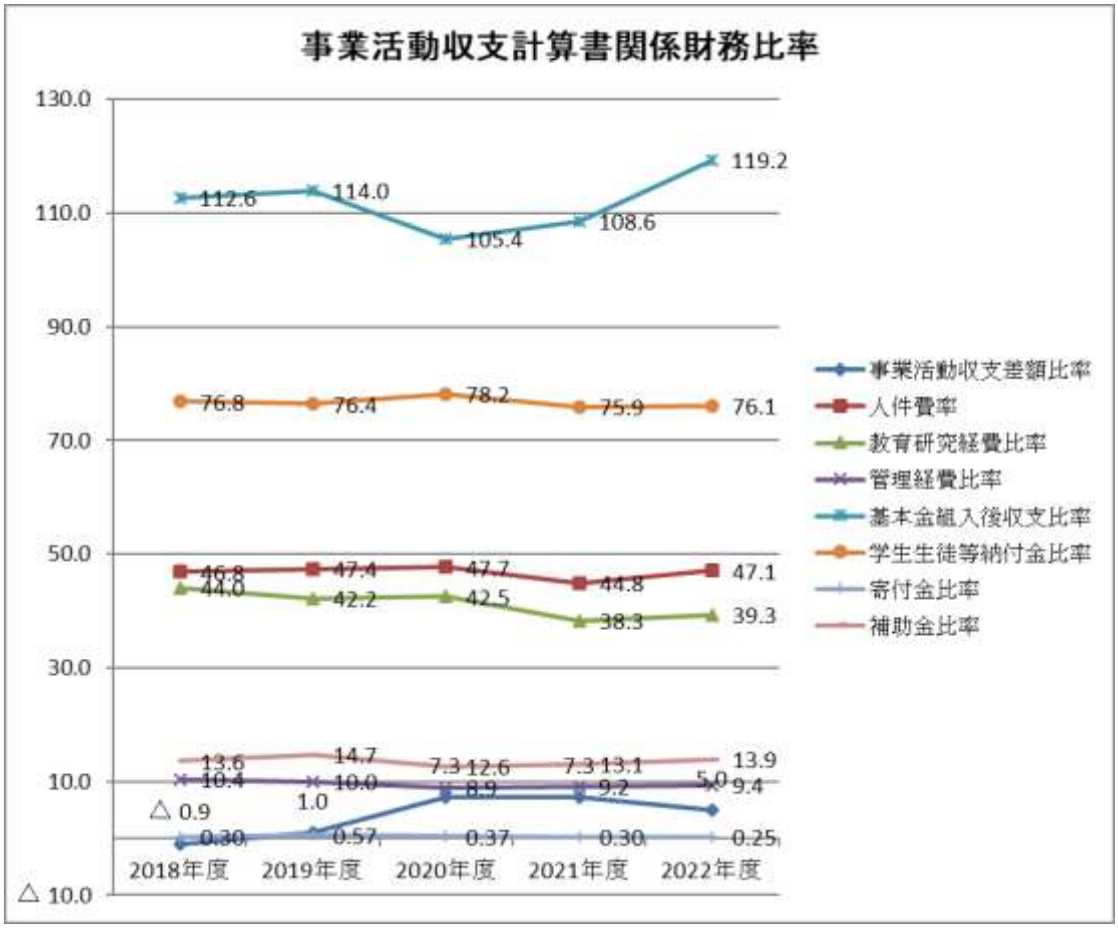
貸借対照表関係比率

	比　　率	評　価	算 式（×100）	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	全国平均
①	特定資産構成比率	△	特定資産/総資産	10.7	11.2	8.5	5.9	5.6	22.9
②	流動比率	▼	流 動 資 産 / 流 動 負 債	225.2	222.0	258.3	307.7	234.0	262.9
③	負債比率	▼	総　負　債　/　純　資　産	17.6	15.4	14.0	11.8	12.6	13.6
④	基本金比率	△	基本金/基本金要組入額	92.1	93.8	95.6	97.2	96.7	97.3

事業活動収支計算書関係比率

	比　　率	評　価	算 式（×100）	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	全国平均
⑤	人件費率	▼	人件費/経常収入	46.8	47.4	47.7	44.8	47.1	51.3
⑥	教育研究経費比率	△	教育研究経費/経常収入	44.0	42.2	42.5	38.3	39.3	34.3
⑦	管理経費比率	△	管理経費/経常収入	10.4	10.0	8.9	9.2	9.4	8.3
⑧	事業活動収支差額比率	▼	基本金組入前当年度収支差額 /事業活動収入	△ 0.9	1.0	7.3	7.3	5.0	6.4
⑨	基本金組入後収支比率	△	事業活動支出 /事業活動収入-基本金組入額	112.6	114.0	105.4	108.6	119.2	104.1
⑩	学生生徒等納付金比率		学生生徒等納付金/経常収入	76.8	76.4	78.2	75.9	76.1	73.6
⑪	寄付金比率	△	寄付金/事業活動収入	0.30	0.57	0.37	0.30	0.25	2.2
⑫	経常寄付金比率		教育活動収支の寄付金/経常収入	0.3	0.6	0.4	0.3	0.3	1.6
⑬	補助金比率	△	補助金/経常収入	13.6	14.7	12.6	13.1	13.9	14.3
⑭	経常補助金比率		教育活動収支の補助金/経常収入	14.4	14.5	13.2	13.1	14.0	14.1
⑮	基本金組入率	▼	基本金組入額/事業活動収入	10.4	13.1	12.0	14.6	20.3	10.1
⑯	経常収支差額比率		経常収支差額/経常収入	△ 1.7	0.1	0.5	7.5	4.1	5.9
⑰	教育活動収支差額比率		教育活動収支差額/教育活動収入計	△ 3.7	△ 1.7	△ 1.1	5.2	1.1	4.2

貸借対照表関係財務比率
300.0
250.0
200.0
150.0
100.0
50.0
0.0
225.2
222.0
258.3
307.7
234.0
92.1
93.8
95.6
97.2
96.7
2018年度
2019年度
2020年度
2021年度
2022年度
基本金比率
流動比率
負債比率
特定資産構成比率


事業活動収支計算書関係財務比率
130.0
110.0
90.0
70.0
50.0
30.0
10.0
△ 10.0
112.6
114.0
105.4
108.6
119.2
76.8
76.4
78.2
75.9
76.1
46.8
47.4
47.7
44.8
47.1
44.0
42.2
42.5
38.3
39.3
13.6
14.7
12.6
13.1
13.9
10.4
10.0
8.9
9.2
9.4
△ 0.9
1.0
0.30
0.57
0.37
0.30
0.25
2018年度
2019年度
2020年度
2021年度
2022年度
事業活動収支差額比率
人件費率
教育研究経費比率
管理経費比率
基本金組入後収支比率
学生生徒等納付金比率
寄付金比率
補助金比率

監 査 報 告 書

学校法人白鷗大学
理事長 上 岡 條 二 殿

私たち監事は、私立学校法第 37 条第 3 項及び学校法人白鷗大学寄附行為第 7 条の規定に基づき、学校法人白鷗大学の 2022 年度（2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで）における業務執行並びに財産の状況について監査を行いました。

その結果につき、本監査報告書を作成し、下記のとおり報告いたします。

1．監査方法の概要

私たち監事は監査に当たり、理事会及び評議員会、その他の重要な会議に出席するほか、理事等から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人（監査法人ナカチ）と連携し、主要な関係部署において業務および財産の状況を調査いたしました。

また、会計監査人から随時監査に関する報告を求め、計算書類及び付属明細書につき慎重に検討するなど、必要と思われる監査手続を実施しました。

2．監査の結果

2022 年度学校法人白鷗大学の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類、すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細表及び基本金明細表を含む。）並びに財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、その収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人会計基準（昭和 46 年文部省令第 18 号）にも準拠しております。

学校法人白鷗大学の 2023 年 3 月 31 日現在の財政状態及び同日をもって終了する会計年度の経営状況を適正に表示しているものと認めました。

学校法人白鷗大学の業務決定及び業務執行状況、財産に関する不正の行為または法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと確認いたしました。

2023 年 5 月 22 日

学校法人白鷗大学

監事 深見栄一 印

監事 鈴木正 印

基礎データ

（1）入園・入学者数５ヵ年推移

学校名				2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
白鷗大学	大学院	経営学研究科		1	1	1	1	3
				(20)	(20)	(20)	(20)	(20)
		法学研究科		4	3	5	6	5
				(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
		合計		5	4	6	7	8
				(30)	(30)	(30)	(30)	(30)
	学部	経営学部	経営学科	474	470	470	471	551
				(400)	(400)	(400)	(400)	(400)
		法学部	法律学科	316	305	313	309	324
				(270)	(270)	(270)	(270)	(270)
		教育学部	発達科学科	497	496	500	509	503
				(430)	(430)	(430)	(430)	(430)
		合計		1,287	1,271	1,283	1,289	1,378
				(1,100)	(1,100)	(1,100)	(1,100)	(1,100)
白鷗大学足利高等学校				400	412	438	433	468
				(950)	(950)	(950)	(950)	(950)
白鷗大学足利中学校				50	44	46	42	58
				(120)	(120)	(120)	(120)	(120)
白鷗大学はくおう幼稚園*				28	36	33	24	24
				(40)	(40)	(40)	(40)	(40)
総合計				1,770	1,767	1,806	1,795	1,936
				(2,240)	(2,240)	(2,240)	(2,240)	(2,240)

上段は入学者数、下段の( )は入学定員数

*幼稚園は年少クラスの入園者数

（2）2023 年度志願者・合格者（大学）

学部	学科・専攻		募集人員	志願者数	合格者数
経営学部	経営学科		400	1,687	1,054
法学部	法律学科		270	1,162	780
教育学部	発達科学科		430	1,887	1,228
	内訳（専攻）	児童教育	220	940	632
		スポーツ健康	120	455	256
		英語教育	50	215	166
		心理学	40	277	174
計			1,100	4,736	3,062

（3）2022 年度国際交流留学生実績（大学）

研修内容	実施／変更
海外研修	＊対面の研修は新型コロナウイルス感染拡大により中止となりましたが、ハワイ大学とのオンライン英語研修を行いました。 ・ハワイ大学オンライン英語研修（8日間、参加者17名）
海外経営学部留学プログラム ビクトリア大学 タコマコミュニティカレッジ	＊中止
国内研修 英語研修 オンデマンド留学	 学内研修・ﾌﾟﾘﾃｨｯｼｭﾋﾙｽﾞ（7日間、参加者60名） 5、6、10、11月に4回/月　実施

（4） 2022 年度学部・大学院 進路データ

(2023年5月1日現在)

学部	学科・専攻	卒業者	就職希望者(a)			未就職者		就職率
			内定者(b)	臨採ほか(c)	未定(d)	進学(大学院)	進学(その他在宅等)	%
経営	経営	432	373	8	2	4	45	99.5%
法	法律	298	262	2	1	4	29	99.6%
教育	児童教育	237	187	34	0	5	11	100.0%
	ｽﾎﾟｰﾂ健康	105	68	26	0	2	9	100.0%
	英語教育	76	52	14	0	4	6	100.0%
	心理学	58	44	3	1	1	9	97.9%
合　計		1,206	986	87	4	20	109	99.6%

就職率＝(b)＋(c) ／(a)

大学院	専攻	修了者	進学者	就職者	その他
経営	経営学	1	0	0	1
法	法律学	3	0	2	1
合　計		4	0	2	2

※その他には、在職者を含む。

（5）2023 年度学生・生徒・幼児納付金

	2021年度生～2023年度生			～2020年度生まで
	1年次	2年次	3年次	4年次
入学金	280,000			
授業料※	740,000	740,000	740,000	710,000
施設設備費	270,000	270,000	270,000	250,000
諸会費	17,000	17,000	17,000	52,000
計	1,307,000	1,027,000	1,027,000	1,012,000

※教育学部は、プラス40,000円となります。

・高等学校

	普通科（1年次）	普通科（2・3年次）
入学金	150,000	
学費	543,200	488,200
計	693,200	488,200

・中学校

	1年次	2・3年次
入学金	200,000	
学費	527,400	477,400
計	727,400	477,400

・幼稚園

	入園生	在園生
入園料	50,000	
保育料	280,800	280,800
計	330,800	280,800

・送迎の有無などにより増減あり。

・幼児教育無償化対象。

学校法人　白鷗大学
編　　集：経営企画室
発　　行：2023 年 5 月